

主な市民意見（2040年までに必要なこと）

①人とひと、人と地域など多様なつながりを実感し、ほっとする住みよいまちをみんなで作っている。

- ・地域の見守り隊がつくられている。(WS)
- ・地域で人と人をつなげるコーディネータ、マッチングアプリが整備されている。(WS)
- ・地域参加の条件・きっかけ(アンケート)
「時間や期間にあまりしぼられないこと」が4割近く最も高い

②住み慣れた地域で元気に年を重ね、人生100年時代を生き活きと暮らしている。

- ・高齢者が外出して生き生き出来る場所や集まりが増えている。(WS)
- ・地域福祉推進拠点が学校に設置されている。(WS)
- ・高齢者向けのイベントに学生も関わっている。(WS)
- ・スポーツや運動を行わなかった理由(アンケート)
「仕事が忙しくて時間がないから」が4割近くと最も高い。

③それぞれの個性を互いに認めあい、それぞれが望むフィールドで活躍している。

- ・異文化に触れる機会・イベントが行われている。(WS)
- ・ユニバーサルデザインの発信と周知がなされている。(WS)
- ・ダイバーシティの実現(アンケート)
「年齢別 実現への期待度」が、16～29歳の世代が8割強と最も高い。

④ワクワク感を持って、「やりたい！」に挑戦でき、笑顔で自分のみちを歩んでいる。

- ・主体性のある児童生徒が育成されている。(WS)
- ・歴史・環境・自然の教育がされている。(WS)
- ・社会環境に対する期待要素(アンケート)
「ワーク・ライフ・バランスの向上」が7割弱と最も高い。

⑤子どもの幸せをみんなでわかちあい、安心と喜びを持って子育てしている。

- ・子どもたちを地域で守り、育てる場所・拠点が整備されている。(WS)
- ・先輩ママが子育ての相談に乗っている。(WS)
- ・子どもを増やすことに対する考え方(WEBアンケート)
「希望する子どもの数までは増やさない(増やせない)」が4割近く
- ・希望どおり子どもを持てるために必要なこと(WEBアンケート)
「希望どおり産休や育休が取得できる」が6割以上で最も高い